

## 主な機能一覧

ベーステクノロジー	F	L	D
Parasolidモデリングカーネル	●	●	●
高速な描画テクノロジー (VGM)	●	●	●
Cinewareレンダリングエンジン	●	●	●

2D/3D基本機能	F	L	D
線と面の2D汎用作用編集	●	●	●
図形への透過/影表現	●	●	●
2D/3D対応の文字、寸法作図	●	●	●
スナップルーベ・X線選択モード	●	●	●
スマートオプションディスプレイとクイック検索	●	●	●
イメージのクロープ/圧縮	●	●	●
データベース/ワークシート	●	●	●
シートレイヤ・ビューポート	●	●	●
デザインレイヤ・ビューポート	-	●	●
ビューポートスタイル	●	●	●
オーガナイズ (図面構造の集中管理)	●	●	●
リソースマネージャ (リソースの総合管理)	●	●	●
名前の一括変換	●	●	●
ハイブリッドシンボル/2Dコンポーネント	●	●	●
フローティングデータバー	●	●	●
ウインドウタブ/タブレットの切り離し	●	●	●
2D→3Dへのプッシュ/プルモード	●	●	●
多彩で強力な3Dモデリング/編集	●	●	●
統合ビュー	●	●	●
クリップキューブ (3Dモデルのリアルタイム切断)	●	●	●
2D/3D対応のワーキングプレーン	●	●	●
協働設計支援 (プロジェクト共有)	-	●	●
クラウド連携・リモート	●	●	●
DXF/DWG取り込み・取り出し	●	●	●
PDF (2D) 取り込み・取り出し	●	●	●
PDF (3D) 取り出し	-	●	●
Excel参照・取り込み・取り出し	●	●	●
パブリッシュ (DXF/DWG/DWF/Excel)	●	●	●
パブリッシュ (PDF/印刷/イメージ)	-	●	●
3Dレンダリング	●	●	●
バックグラウンドレンダリング	●	●	●

2D/3D基本機能	F	L	D
ビューポートレンダリング	●	●	●
パスベースのワークスルーアニメーション	●	●	●
写真と3Dの合成 (Camera Match)	●	●	●
イメージエフェクト	●	●	●
豊富なシェーダ	●	●	●
パララックスパンク/シャドウキャッチャー	●	●	●
背景テクスチャ/背景放射光/フィジカルスカイ	●	●	●
コーステクスフォトン	●	●	●
ソフトシャドウアンビエントオクルージョン	●	●	●
CPUでも利用可能なRedshiftレンダリング	●	●	●
VGX (AR)、パノラマビュー取り出し	●	●	●
Twinmotionダイレクトリンク	●	●	●
Omniverseコネクタ (Windowsのみ)	●	●	●

建築・内装設計機能	F	L	D
マテリアル作成	-	●	●
データマネージャとデータタグ	-	●	●
グリッド線 (通り芯) とレベル基準線	-	●	●
スペース作成 (空間定義)	-	●	●
ストーリー (階層) 管理	-	●	●
スタイルに対応した構造材	-	●	●
柱/ピラスター作成	-	●	●
壁/カーテンウォール作成	-	●	●
スラブ/水勾配作成	-	●	●
屋根作成	-	●	●
壁/スラブ/屋根スタイル (構成要素)	-	●	●
ドア/窓作成	-	●	●
階段/手摺/フェンス作成	-	●	●
プラグインオブジェクトスタイル	●	●	●
詳細図/投影図ビューポート	-	●	●
水平・垂直断面ビューポート	-	●	●
室内展開図ビューポート	-	●	●
データの可視化 (デザインレイヤ/ビューポート)	-	●	●
ビューポートのリアルタイム編集	-	●	●
表題欄マネージャ	-	●	●
カスタマイズ可能なグラフィック凡例	-	●	●

建築・内装設計機能	F	L	D
BIMObjectツール	-	●	●
Revit取り込み・取り出し・参照	-	●	●
IFC取り込み・取り出し・参照	-	●	●
Solibriダイレクト接続	-	●	●

都市計画・ランドスケープデザイン機能	F	L	D
GeoTIFF対応のジオリファレンス	-	●	●
オンラインGISデータの利用	-	●	●
地形モデルの作成・編集・解析	-	●	●
地形モデルの作成・土量計算	-	●	●
ランドスケープエリア/生け垣	-	●	●
群衆の表現	-	●	●
道路/ガードレール作成	-	●	●
舗床の作成・位置合わせ・ドレープ	-	●	●
多機能の植栽ツール/既存樹木ツール	-	●	●
Laubwerkプラント	-	●	●
植栽添景ライブラリ	●	●	●
灌水システム	-	●	●

ステージ&ライティング計画機能	F	L	D
座席セクションレイアウト	-	●	●
パーテーションポール作成	-	●	●
イベント空間計画	-	●	●
ステージステップ/スロープ作成	-	●	●
柔軟な吊り元作成	-	●	●
概略図作成	-	●	●
トラス/ヒンジトラス/ホイスト/ブライダル作図	-	●	●
照明器具データ・配置・GDTF編集	-	●	●
多彩なフォーカス指定	-	●	●
DMX/パッチ (照明器具のパッチとトラッキング)	-	●	●
柔軟な照明用番号付け	-	●	●
スピーカー配置	-	●	●
電源やケーブルシステムの作図	-	●	●
ビデオカメラオブジェクト	-	●	●
ビデオスクリーン作図	-	●	●
インベントリと設備リスト	-	●	●

## ファイル互換一覧

	F	L	D
<b>取り込み</b>	●	●	●
DXF・DWG (R2.5~2024) / DWF (4.2・5.5・6.0) / イメージファイル (BMP・GIF・JPG・JPEG・JP2・PNG・TIFF・ICO・ECW・[Windowsのみ: WDP・DDS・EMF]・[Macのみ: SGI・TGA・EXR・PSD・ICNS・MAC・XBM・PBM・PGM・PPM・HDR・PCT]) / PDF (1.4) / ワークシート (TXT・CSV・DIF・SLK・XLS・XLSX) / スクリプト (TXT・VSS・VS・PY・XXT・MPC) / IGES (IGS・IGES) / OBJ/SAT/STEP (STP・STEP) / STL / Rhino 3DM (1~7) / Parasolid X.T (9~36) / Cinema 4D テクスチャ (R13~2023) / USD (usd/usda/usdc/usdz) / mtextur テクスチャ / Arroway テクスチャ / HDRI (HDR・EXR・JPG・PNG) / Distribution ファイル (IES) / MCD (7~12) / VWX (2008~2023) / MosaPattern / シンボル (DXF・DWG・IGES・OBJ・SAT・STEP・STL・Rhino 3DM・Parasolid X.T) / JW_CAD (JWW・JWS)	●	●	●
IFC・IFCXML・IFCZIP (2x2・2x3・4) / Revit2011~2024 (RVT・RFA) / 3DS / SketchUp (SKP 4~2022) / 点群 (LAZ・LAS・PTS・E57・XYZ・PLY) / PartSpec (DXF・DWG・SAT・IGS) / 隣接マトリックス (TXT・CSV) / BCF・BCFZIP / ジオリファレンスイメージ (BPW・JGW・PGW・TFW・GFW・WLD・ECW) / シンボル (3DS・SKP)	-	●	●
Shape (SHP) / 座標データ (TXT・CSV)	-	●	●
照明器具情報 (Lightwright5~6) / MVR (1.6) / GDTF (1.1)	-	-	●
<b>参照</b>	●	●	●
DXF・DWG (R2.5~2023) / DWF (4.2・5.5・6.0) / イメージファイル (BMP・GIF・JPG・JPEG・JP2・PNG・TIFF・ICO・ECW・[Windowsのみ: WDP・DDS・EMF]・[Macのみ: SGI・TGA・EXR・PSD・ICNS・MAC・XBM・PBM・PGM・PPM・HDR・PCT]) / PDF (1.4) / ワークシート (XLS・XLSX) / VWX (2024 [レイヤ参照])	●	●	●
IFC・IFCXML・IFCZIP (2x2・2x3・4) / Revit2011~2024 (RVT・RFA) / VWX (2024 [デザインレイヤビューポート])	-	●	●
<b>取り出し</b>	●	●	●
DXF・DWG (R12~2024) / DWF (4.2・5.5・6.0) / EPSF (3.1) / HDRI / イメージファイル (BMP・GIF・JPG・JPEG・PNG・TIFF・HEIF [Windowsのみ: WDP・DDS・EMF]・[Macのみ: JP2・TGA・EXR・PSD・KTX・ASTC・PBM]) / PDF (1.7) / PDF A-1b (1.4) / スクリプト (TXT・PY・VSS・VS) / ワークシート (TXT・CSV・DIF・SLK・XLS・XLSX) / データベース (TXT・CSV・DIF・SLK) / Cinema 4D (2023) / USD (usd/usda/usdc) / COLLADA (DAE) / FBX/IGES (IGS・IGES 5.3) / OBJ/SAT/STEP (STP・STEP) / STL / Rhino 3DM/Parasolid X.T (9~36) / Strata Vision / HDRI (HDR) / パノラマ (HTML) / VGX/アニメーション (MOV) / VWX (2019~2023) / Unreal Datasmith (4.27) / JW_CAD (JWW)	●	●	●
IFC・IFCXML・IFCZIP (2x3・4) / Revit2024 (RVT・RFA) / 地理空間情報 (KML) / Webビュー (HTML) / 3DS / 3D PDF / ジオリファレンスイメージ (BPW・JGW・PGW・TFW・GFW・WLD) / BCF (v2.1・v3.0)・BCFZIP (v2.0)	-	●	●
Shape (SHP)	-	●	●
ASCIIテキスト (3.0) / 照明器具情報 (Lightwright 5~6) / ESC (Vision 4~Vision2024) / MVR (1.6)	-	-	●

## 価格一覧 (スタンドアロン版)

	Fundamentals	Landmark	Design Suite
<b>永続ライセンス</b>	価格 393,800 円 (税込) 型番 124251	523,600 円 (税込) 124253	676,500 円 (税込) 124255
<b>Vectorworks Service Select ハンドル</b> *	価格 435,600 円 (税込) 型番 C124251	553,300 円 (税込) C124253	709,500 円 (税込) C124255
<b>乗換版</b> * (Service Select ハンドル製品)	価格 型番	474,100 円 (税込) BC124253	
<b>サブスクリプション</b> * (1年間)	価格 型番	245,300 円 (税込) SUBL29	306,350 円 (税込) SUBD29

\*製品購入の際、ご購入先に専用申込書または専用申込書 兼 契約申込書のご提出が必要な製品です。また、Service Select ハンドル製品は販売期間が通常製品と異なります。

	F → Landmark	F → Design Suite	L → Design Suite
<b>モジュール追加</b>	価格 129,800 円 (税込) 型番 VRLR29	282,700 円 (税込) VRRCR29	価格 152,900 円 (税込) 型番 LRCR29

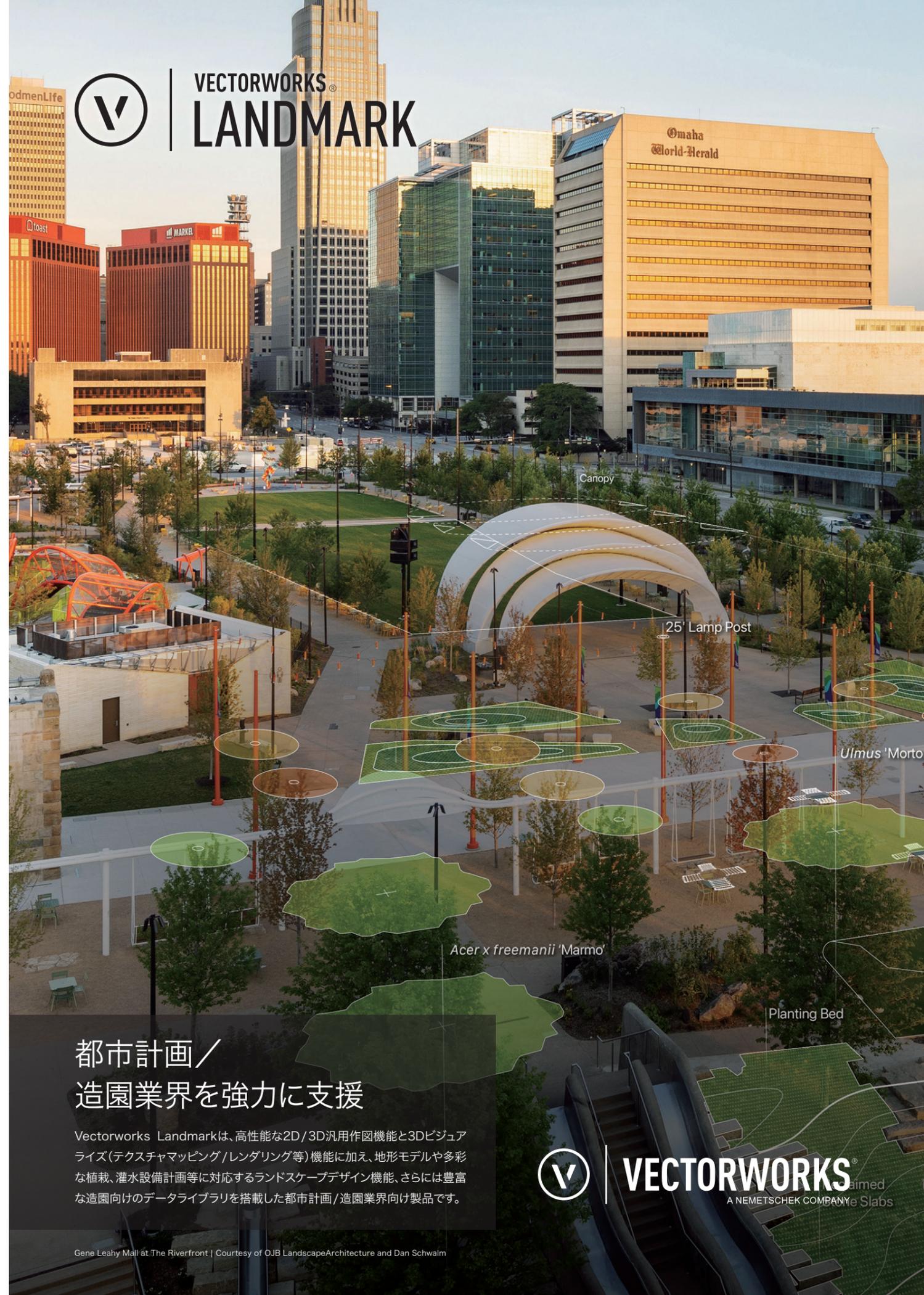
## 動作環境

最新の推奨動作環境は、弊社Webサイトにてご確認ください。  
**Vectorworks推奨動作環境**  
<https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq/vw2024.html>  
 Vectorworks製品を導入する前に、ご使用のパソコン上で正常に動作するか評価版を使用して確認することをお薦めします。  
**Vectorworks評価版ダウンロード**  
[https://www.vectorworks.co.jp/Vectorworks/demo\\_index.html](https://www.vectorworks.co.jp/Vectorworks/demo_index.html)

2024.05	<b>ベクターワークスジャパン株式会社</b> https://www.vectorworks.co.jp	<b>営業部</b> email (一般の方) : market@vectorworks.co.jp email (販売店) : aa_sl-team@vectorworks.co.jp	<b>Vectorworks Japan Store</b> https://store.vectorworks.co.jp
---------	--	---	---

Vectorworks, Renderworks, Bracworks と ConnectCAD は Vectorworks, Inc. の登録商標です。SmartCursor と VectorScript は Vectorworks, Inc. の商標です。Vision は Vectorworks, Inc. の製品です。すべての権利は Vectorworks, Inc. が保有しています。Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Mac, macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。その他記載されている会社名および商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。使用しているイメージは Vectorworks Design Suite を使用し、一部、画像処理を行っているものが含まれています。製品の仕様、サービス内容は予告なく変更することがあります。

Vectorworks Japan Co., Ltd. and its licensors. All rights reserved. Printed in Japan. 240530 AI



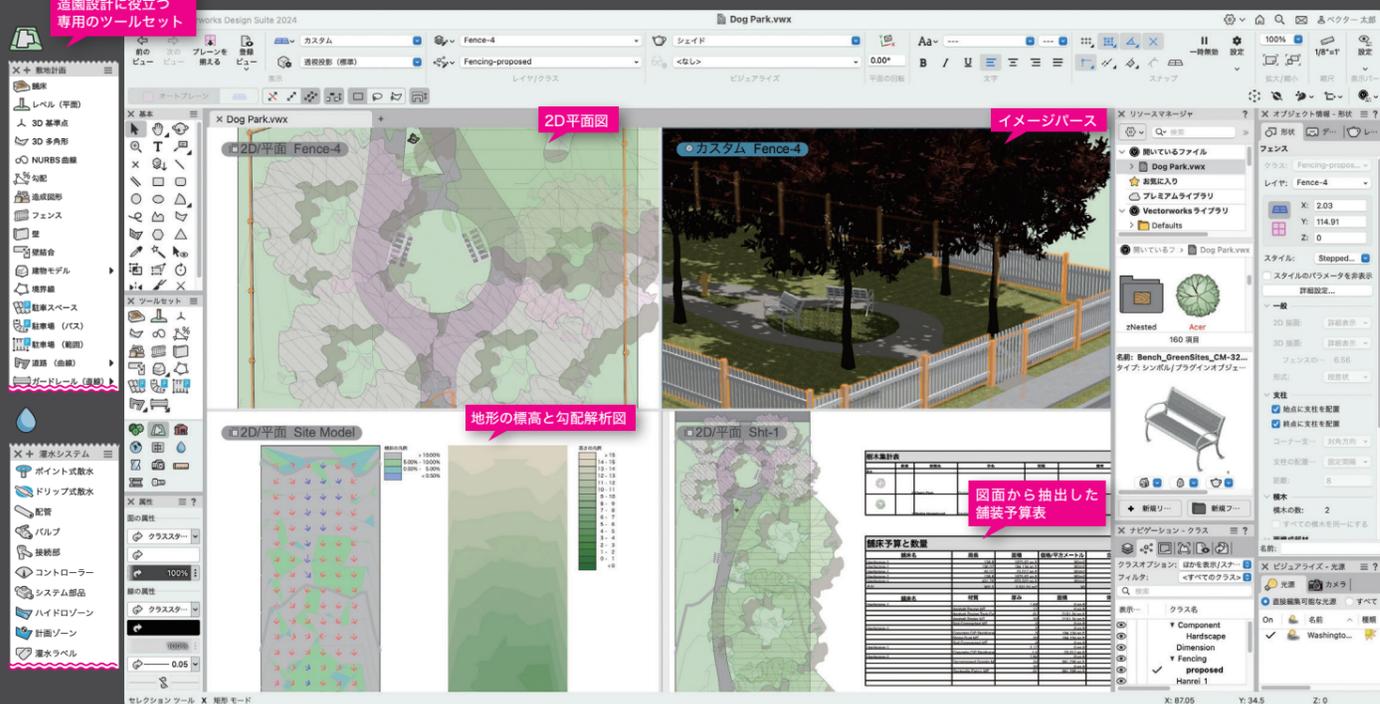
# VECTORWORKS® LANDMARK

## 都市計画 / 造園業界を強力に支援

Vectorworks Landmarkは、高性能な2D/3D汎用作用機能と3Dビジュアライズ(テクスチャマッピング/レンダリング等)機能に加え、地形モデルや多彩な植栽、灌水設備計画等に対応するランドスケープデザイン機能、さらには豊富な造園向けのデータライブラリを搭載した都市計画/造園業界向け製品です。



Gene Leahy Mall at The Riverfront | Courtesy of OJB LandscapeArchitecture and Dan Schwalm



造園設計に役立つ  
専用のツールセット

2D平面図

イメージパース

地形の標高と勾配解析図

図面から抽出した  
舗装予算表

LANDSCAPE & URBAN PLANNING

# 都市計画・ランドスケープデザイン支援機能

Vectorworks Landmarkの主な機能と特徴をご覧ください。動画はこちら。

<https://university.vectorworks.net/mod/overview/view.php?id=3915>



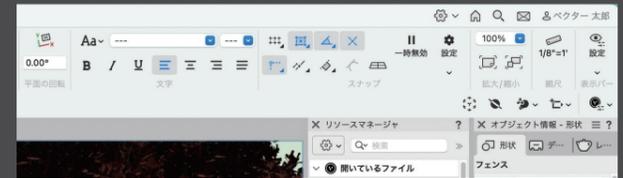
## 基礎機能

### インターフェイス

F A L S D UP

設計環境の利便性を高める機能が搭載されています。計画の軸に応じて図面を回転できる機能や、クラスやレイヤなどのファイル構造を一覧できるナビゲーションパレットによって、作業環境をすぐに切り替えることができます。Vectorworks 2024で刷新された表示バーには、ビューの状態や図形へのスナップをコントロールしたり、縮尺や文字設定を素早く切り替えるための機能が集約されています。

※表示バーは、Fundamentalsでもご利用いただけます



### データの管理と可視化

F A L S D

柔軟性が設計作業とマッチすることで、ワークフローはさまざまな面でスムーズになります。データの可視化機能は、指定した条件に合致したオブジェクトを色分けして視覚的に分かりやすく確認ができるため、設定ミスを防ぎます。また、図面化に必要なさまざまな情報の表示にはデータタグが便利です。個別または自動的に複数のオブジェクトにタグ付けでき、時間を節約できます。



### 協働設計

F A L S D UP

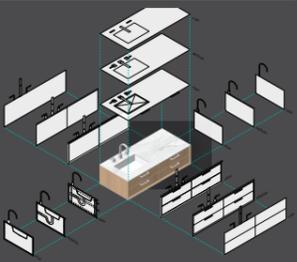
複数人で設計を進める場合、プロジェクト共有が有効な手段です。追加のソフトウェアやコストを必要とせず、共有設定をしたファイルをサーバーやVectorworks Cloud Servicesの共有フォルダに置くだけで開始できます。それぞれの状況を確認しながら、お互いの作業を干渉することなく協働設計を進めることが可能です。また、シンボルやハッチング、壁スタイルなど共通して使うリソースは、ワークグループ機能を使うことで一元管理でき、参照元のファイルを変更するだけで全員のリソースを更新することが可能です。バージョン2024では、すべての変更を常に追跡できるようになり、安定性が大幅に向上しました。



### カスタマイズ可能なハイブリッドオブジェクトの2Dコンポーネント

F A L S D

3D環境での作業が多くなっている今、3DモデルやBIMモデルから図面を効率的に取り出す方法が求められています。ハイブリッドオブジェクトの2D表示を自由に設定できる機能が搭載されたことで、シンボルやプラグインオブジェクトの詳細度を完全にコントロールできます。どのようなハイブリッドオブジェクトでも、右クリックして編集画面に入るだけで、平面図や立面図、断面図に必要な図面表現を作図できます。



### ファイル互換性

F A L S D

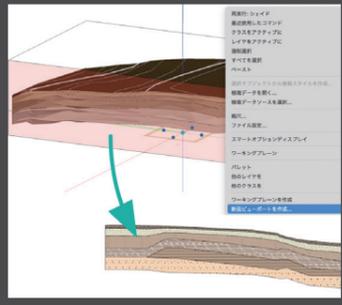
Fundamentalsでは対応していない多くのファイル形式の取り込み/取り出しが可能で、Revitや各CADソフト、3Dソフト、グラフィックソフトとの互換を実現します。ファイルをVectorworksにドラッグ&ドロップするだけで、取り込み設定のダイアログが表示され、素早く作業に移ることができます。



### 設計環境

F A L S D

クリップキューブを使って、直感的に切断位置を決定して水平面や垂直面の断面図を取り出すことができます。取り出した立断面図は、ダブルクリックすることでオブジェクトを直接編集できます。平面のビューポートは、表示されているオブジェクトの情報をもとに色分けできるため、カースキームなども容易に表示可能です。作成した図面はパブリッシュ機能により、PDFやイメージ、印刷などを手早く一括処理できます。

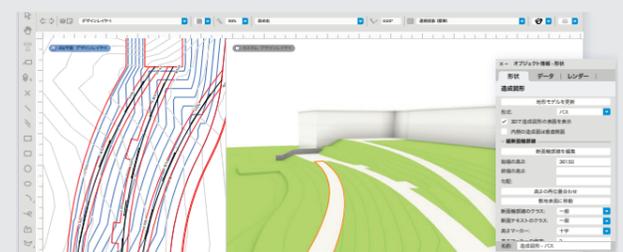


## Vectorworks Landmarkの便利な拡張機能

### 地形モデルの作成と編集

F A L S D UP

国土地理院の数値地図データや測量データ、点群データを取り込み、現況の地形モデルを素早く作成できます。また敷地形状や等高線を描画して作成することも可能です。さらに造成面や法面を指定することで、計画地形を作成できます。現況と計画の差分から土量を算出でき、施工計画に役立ちます。2024バージョンからは地形モデル解析が改良され、異なる範囲の標高を凡例で表示できるようになりました。



### モデルとリンクした図面/レポート作成

F A L S D UP

デザインの次に必要なものは提出物としての設計図書です。作成した3Dモデルから各種ビューポート機能を使って、平面図や立面図、断面図を取り出すことができます。モデルに含まれる情報は、必要項目を選択することで、植物表や舗装構成表、面積表を素早く作成することが可能です。設計変更などにより3Dモデルに修正があった場合は、作成済みの図面や一覧表もコマンドをワンクリックで最新状態に更新できます。Vectorworks 2024からはExcelデータの参照が可能となり、断面図のビジュアル更新も高速化されて、各種図面や一覧表の作成効率がさらに向上します。



### 多彩なエクステリアデザイン

F A L S D NEW

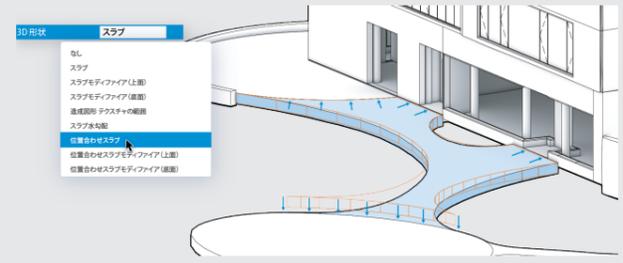
エクステリアデザインに必須の門扉やウッドデッキ、屋外照明器具、カーポートなどはデータが搭載されているほか、オリジナルで形状をデザインすることも可能です。Vectorworks 2024では新たにフェンスツールが搭載され、地形の高さを自動認識した3D形状の作成や支柱の位置調整などをフレキシブルに行えます。



### 便利な専用ツール

F A L S D

建物や時計台などの3D図形は、建築設計のように柱や壁など細かい設定をする必要はありません。専用ツールでサイズやテクスチャを選択するだけで簡単に作成が可能です。道路や駐車場などの専用ツールも搭載しています。表層・基層・路盤などを設定し、地形表面に沿わせた舗装構成の表現もできます。



機能を搭載している製品を各プロダクトマークで表記しています。グレーのマークは、同機能が搭載されていない製品です。

### 植栽計画

F A L S D UP

2D/3Dの表現ができる植物を多数搭載。学名・樹種名・花期・用途・画像などが収録されているデータベースから、必要な情報を注釈表記して図面を仕上げられます。3D表現では、樹高と枝張りを自由にサイズ設定できるので、5年後10年後の未来予想図を提案できます。これらは、1本ずつ配置場所を決めたり、指定した範囲に複数の植物を割合配置することも可能です。Vectorworks 2024では、植物の根鉢と植穴の設定オプションが増えたことで計画の精度が向上し、共同作業者とのコミュニケーションを明確にとることができます。



COURTESY OF PACIFIC COAST LAND DESIGN.

### 灌漑システム

F A L S D

エリアを指定し、水源(接続部)・支管・バルブ・本管を作成したら、散水をポイント式とドリップ式から選択して、灌漑の有効範囲を視覚的にわかりやすく表示できます。灌漑部品は実際のメーカーのデータに基づき、適切な水圧や流量などの値が自動的に計算されます。



### 2D、3D表現が可能な豊富なライブラリ

F A L S D

屋外で使用するテーブルや椅子、ベンチ、サンシェード、ガーデンライト、植物用のプランター、パーゴラ、トレリス、アウトドアで使用できるグリルやファイヤーピット、ブランコなどの遊具、噴水、ゴミ箱、車止めポールなど、庭や公園の構成に必要な部材は、図面にもパースにも使えるデータとして多数搭載しています。また、学名・樹種名・花期などの植栽データを定義したオブジェクトスタイルも利用可能です。



### 多彩なプレゼンテーション

F A L S D

敷地の都市名を選択、または緯度経度を設定することで、日の出から日の入りまでの太陽光を再現できます。さらに3Dモデルの背景として、時刻と連動した空の表現ができるので、明るい日中のほか、夕焼けや夜のライトアップした情景を形にし、印象的なパースを作り出します。3Dモデルのプレゼンテーションとしてパソコンだけでなく、iPhoneやiPadなどのモバイル端末でも外出先でも確認できます。また柔軟なウォークスルーアニメーションを作成したり、360°見回せるパノラマレンダリングなどを活用できます。



F Fundamentals A Architect L Landmark S Spotlight D Design Suite